

平成30年度 第7回 純正会地域包括ケア推進委員会 開催しました

今回、個人情報保護と身元保証の勉強会と、委員会初の地域交流会の打ち合わせを行いました。

個人情報

勉強会 個人情報と身元保証

名古屋西病院MSWの二村さんが自施設における個人情報保護と身元保証について講義してくれました。

①身元保証

②名古屋西病院における金銭・貴重品管理

③個人情報保護とその取り扱い等

①について大変興味深い内容でした。ケアマネジャーは担当の療養者の方が入院した際、医療機関に情報の問い合わせることがあります。その際、個人情報保護の規定は、個人情報の裁量でケアマネジャーに情報を伝えるか判断している。との返答でした。別の病院では「規定はあるがなかなか機能していない。ケアマネジャーからの質問が個人情報保護の観点で伝えづらい時は、まだ担当が決まっておりませんと断るようになっていく」と、療養者の情報を得ることが難しい場合もあることがわかりました。

個人情報には守られるべきものと共有できず、在宅と医療機関との連携にあたってネックになってしまふ場合もありまふ。普段から対象の利用者の情報を共有する必要性については説明を共有する必要はないと実感しました。

勉強会の様子



最後に個人情報に関する事例紹介を行いました。経済的に不安があり身元引受人もなく本人の判断力が低下している80歳の男性のケースです。治療方針の判断ができない、入院費の支払いができない、施設入居になつた場合の身元保証人がいないなどの課題があります。参加者からは「身元保証人を見つけてはどうか」「生活保護課のケースワーカーは低料金で対応してくれる事業所を知っているので生活保護課に相談した方がいい」との意見がありました。

孤独な独居高齢者の増加が懸念されている現在、身元保証人の存在は非常に重要だと痛感しました。このようなケースを検討する中で個人情報を守りながら各機関で連携することの大切さを改めて認識することができました。

命を守る地域の連帯
純正会地域包括ケア推進委員会交流会

2018年 11月16日(金) 13:30-15:30

東洋病院(名古屋市中区正保町3-38)にて

講演・講師

『被災地から学ぶ減災の知恵』

講師：高崎 賢一 氏

災害ボランティアコーディネーターなごや 代表、名古屋みなと災害ボランティアネットワーク 代表、認定NPO法人レスキューストックヤード 理事、なごや災害ボランティア連絡会 常任幹事、南基連部町内会自主防災会 会長

対象

地域住民、町内会長、民生委員、区役所職員、警察署職員、病院看護士、医療相談員、いきいき支援センター職員、ケアマネジャー、訪問看護職員、防災について関心がある方

内容

- 講演会
- グループワーク
 - ・防災したときにどうする？
 - ・避難生活、どうなる？どうする！
 - ・事前の防災対応(地域の連携)
- 意見交換
- 講評

防災に関心ある方、どなたでも参加大歓迎です
お気軽にお問合せください

お問い合わせ

TEL:052-361-1022

純正会地域包括ケア推進委員会事務局 担当：安藤

地域交流会開催まで、あと僅か！

委員会初となる地域交流会開催日が迫ってきました。今回の交流会は前回の通信でお伝えした通り、テーマは「災害」です。このテーマに関心を持っていただけた方が多く、予想参加人数を上回っての開催になりそうです。そこで、当日円滑に交流会が開催できるように委員会としても万全の体制で対応したいと委員全員意気込んでいます。

来所していただく方々に医療法人純正会の事業展開や委員会の活動を知ってもらうためにポスター作りを検討中です。この交流会をきっかけに地域の方や各事業所、公の機関との連携がより強化され、地域包括ケアの推進につながることが期待されています。当日参加も受け付けています。皆さん是非ご参加下さい。

次回の予定

日付	行事	場所
12月21日13時半	昨年のふり返りと、来年度の活動について	東洋病院